

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和4年 3月 1日

事業所名 スタジオそら鶴見

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	6	0	・打ち合わせ時に各部屋の割り振りを決めてスペースの確保に努めています。	・今後も安全に療育の提供ができるよう、引き続き努めていきます。
	② 職員の配置数は適切であるか	6	0	・個別療育で指導できる配置は確保できています。	・人員配置としては適当な人数のため、引き続き支援の充実化を図ります。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	1	・視覚定時で分かりやすい構造化に努めています。 ・建物は1階から2階へはエレベーターが設置してあります。ベビーカー置き場も完備してあります。 ・情報伝達は絵カード等用いて言語以外のコミュニケーションも取れるよう配慮してあります。	・建物外の階段に外灯がまだなく建物オーナーと調整中です。 ・洗面所入口に段差があり注意が必要です。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間になっている。	6	0	・終業後の清掃に併せ、感染症対策として午前の療育終了後と午後の療育終了後に物品やフロアの消毒作業を実施しています。	・今後も清潔な空間を維持していきます。
適切な支援の内容	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画している	6	0	・ケース会議を実施し、目標設定と振り返りを考えています。 ・屋礼や終礼時に通所したお子様の様子などの共有と振り返りをしています。	・今後も継続して実施していきます。
	⑥ 保護者向け評価表により、保護者に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善に繋げている	6	0	・頂いた意見の改善を行っています。	・事業所評価の際だけでなく意見が言いやすいように日頃から保護者様とコミュニケーションを取り信頼関係が築けるように努めます。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	・ホームページにて公開しています。	・今後も継続して実施していきます。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	6	・行っていません。	・必要に応じて検討いたします。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	・随時、社内研修の場を設け実施しています。	・全員が一斉に参加できない為、各職員ごとの参加になってしまっていることが課題です。
業務改善	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6	0	・アセスメントを適宜行い支援計画を作成しています。 ・保護者ニーズを把握するために児童発達支援管理責任者が適宜面談を行っています。	・支援計画作成時以外でも保護者と面談を行いニーズの汲み取りの機会を設けていきます。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	0	・社内のアセスメントを用いて行っています。	・今後も継続して実施していきます。
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6	0	・運動・学習・生活の項目に大きく分けて選択し、具体的な支援内容を設定しています。	・今後も適切に設定できるよう努めて参ります。
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6	0	・打ち合わせ時に支援計画に沿っているか職員同士で確認している。	・今後も継続して実施していきます。
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っている	5	1	・打ち合わせの中で療育の方向性を共有し、内容が向上するように工夫しています。	・今後も継続して実施していきます。
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	1	・療育士を担当制にしないことで固定化せずに様々なプログラム活動が実施できるようにしています。	・今後も継続して実施していきます。
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6	0	・個別療育を中心に行っていますが、プログラムによっては療育士を増やし小集団の活動を取り入れています。	・必要に応じて相談していきます。
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	・朝礼と屋礼の際に打ち合わせを行っています。 ・前回の支援や様子を含めて確認をしています。	・今後も継続して実施していきます。
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	0	・終礼時に打ち合わせを行っています。 ・担当した療育士がその日の様子を共有し振り返りを行っています。	・今後も継続して実施していきます。
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	・療育実施後は必ず記録を書き次回の支援に繋げるようにしています。	・今後も継続して実施していきます。
⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6	0	・半年に1度の支援計画の切り替わり時期以外にも、必要時には適宜モニタリングを実施しています。	・今後も継続して実施していきます。	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0	・主に児童発達支援管理責任者が参画しています。	・参画した会議の内容を現場職員にも報告し、共有していくことを継続します。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	2	・必要に応じて対応しています。	・今後も継続して支援を行っていきます。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	6	・現在対象となる利用者はいません。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	6	・現在対象となる利用者はいません。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	1	・必要に応じて情報共有しています。	・保護者の方からも情報を共有して頂きながら、引き続き相互理解を図っていきます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	2	・必要に応じて学相談シートを作成してお渡ししたり、情報共有しています。	・今後も継続して支援を行っていきます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	4	・年に2回の事業所連絡会に参加し意見交換を行っています。	・今後も継続して参加していきます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	6	・そらコンサートで交流の場を設けていましたが今年は感染症対策で実施できませんでした。	・感染症等の状況を踏まえながら検討していきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	5	・参加していません。	・区の連絡会にて自立支援協議会の内容が共有されるので、職員への周知していくようにします。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	・フィードバックの際に詳しくお子様の様子を聞くようにしています。 ・普段から保護者とコミュニケーションをとる時間を確保し理解を深めるよう努めています。	・今後も継続して配慮していきます。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4	2	・可能な範囲内で家庭内の状況の聞き取りや、相談へのアドバイス等を実施しています。	・今度も丁寧な保護者とのコミュニケーションを心掛けていきます。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	・契約時に説明しています。	・今後も継続して対応していきます。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6	0	・面談の機会を設け同意を得ています。	・今後も継続して支援を行っていきます。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	・面談の機会などを作り相談を伺っています。	・フィードバック時以外でもお話しけるよう配慮していきます。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	6	・実施していません。	・必要に応じて検討いたします。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	・迅速に対応できるよう職員同士の報告連絡相談を普段から意識して業務にあたっています。	・お申し出しやすいような雰囲気スタジオ作りを心掛けていきます。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	・ホームページで情報をお伝えしている他、毎月そら通信を送付しています。	・今後も継続して対応していきます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6	0	・鍵付きのキャビネットを使用し管理をしています。 ・保護者との面談は面談室を使用して会話が漏れないように配慮しています。	・今後も継続して対応していきます。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	・絵カードなどを使用し、分かりやすい提示の方法を考えています。	・今後も継続して支援を行っていきます。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	3	・そらコンサートが感染症対策の為実施できず、今年は機会を設けることが難しかったです。	・感染症等の状況を踏まえながら検討していきます。

非常時の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	0	・保護者閲覧用マニュアルを置きいつでもご覧いただけるようにしてあります。 ・職員は研修を実施しています。	・今後も定期的に研修を実施していきます。
	④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	・年に2回避難訓練を実施しています。	・今後も定期的に研修を実施していきます。
	④3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6	0	・必保護者からの対応等の聞き取りをし、シートに記入していただいています。 ・フェイスシートにも記載も記載をしています。	・対象児童について情報共有だけでなく、てんかん等に対しての基礎知識の研修が出来るよう、検討していきます。
	④4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	2	・おやつ作りのイベント時など都度保護者に確認しています。 ・保護者から共有して頂いた内容はフェイスシートに記入し職員が把握できるようにしています。	・今後も継続して行っています。
	④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0	・ヒヤリハットが起きた際は、報告書を書き職員内で事案を共有し解決方法を考えるようにしています。	・今後も継続して行っています。
	④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	・定期的に研修を行っています。	・今後も継続して行っています。
	④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6	0	・契約時に保護者には身体拘束に関して説明しています。現在は対象となる利用者はいません。	・今後も職員に対し研修を実施しています。

この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。